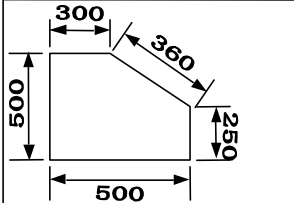
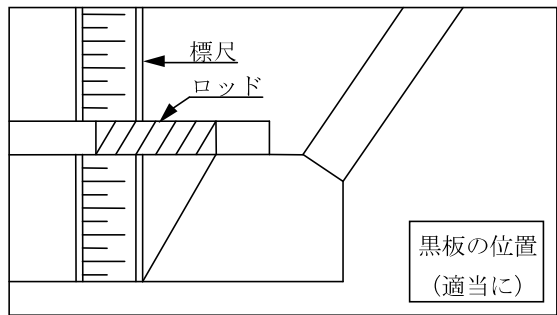


## 別表第2 撮影記録による出来形管理

工	種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
1 共 通 工 事	1. 一般	<p>1. 工事着手前及び完成後の全景（できるだけ同一位置から撮影する）。</p> <p>2. 施工状況、施工法について適宜撮影する。</p> <p>3. 仮設関係について適宜撮影する。</p> <p>4. 被災のおそれがあるときはその都度出来高を撮影する。</p> <p>5. 品質管理実施状況について適宜撮影する。</p> <p>6. 工場製作状況について適宜撮影する。</p> <p>7. 基礎工等で埋設される部分、完成後明視できない部分などについては、特に留意して撮影する。 なお、明視できる部分については、この基準によらなくてもよい。</p> <p>8. その他必要に応じて適宜撮影する。</p>	
	2. 掘削	<p>施工延長おおむね 50～100mにつき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>掘削幅、掘削深さ、法長、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	3. 盛土	<p>上記と同一。</p>	<p>盛土幅、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	4. 石積み(張) ブロック積み (張)	<p>施工延長おおむね 40～80mにつき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>床掘、基礎関係、裏込、その他必要箇所を撮影する。</p>
	5. 基礎杭打工	<p>20本に1箇所割合で撮影する。</p>	<p>偏心量、リバウンド量、その他必要箇所を撮影する。</p>
	6. 矢板打工	<p>施工延長おおむね 40～80mにつき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>偏心量、その他必要箇所を撮影する。</p>
	7. オープンケーソン	<p>構造図の寸法標示箇所を1ロット毎に撮影する。</p>	<p>幅、高さ、長さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。</p>
	8. コンクリート吹付 モルタル吹付	<p>施工面積おおむね 200～400 m<sup>2</sup>につき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>法面状況、法勾配、法長、厚さ、ラス張、アンカー打込み、その他必要箇所を撮影する。</p>
	9. 栗石基礎 碎石基礎 砂基礎 均しコンクリート	<p>施工延長おおむね 50～100mにつき 1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>幅、厚さ、転圧、粒径、その他必要箇所を撮影する。</p>

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>1. 撮影箇所の確認、寸法の判定ができるよう工夫する。</p> <p>2. 撮影箇所には次の事項を記入した黒板を用意し、整理説明の便となるよう工夫する。</p> <p>(1) 工事名 (2) 工種及び種別 (3) 作業内容 (4) 測点 (5) 設計数量・寸法 (6) 実測数量・寸法 (7) 略図</p> <p>3. 写真は原則としてカラー撮影とし大きさは、11.7 cm×8 cmを標準とする。</p> <p style="text-align: center;">黒板記入例</p> <div data-bbox="274 873 612 1299" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">○○○○工事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">(種別) 法枠基礎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">(測定点) No.195+8.0</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">写 真 例 (基礎の高さ)</p> <div data-bbox="175 1440 769 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">  <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">黒板の位置 (適当に)</p> </div>	<p>1. 写真は施工の時期、工種、施工の順序が判定できるように整理し、アルバムに添付する。</p> <p>2. 完成検査及び既済部分検査の際は上記アルバムを検査職員に提示し、寸法出来形管理と併せて確認の資料とする。</p>

工	種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
1 共 通 工 事	10.コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎、側溝、管渠、横断構造物、コンクリート擁壁、その他上記に準ずるもの	線的な構造物については施工延長おおむね 40～80mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、厚さ、配筋、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	11. 精度を要するもの 分土工計量部 ゲート戸当部 橋台沓部	構造図の寸法標示箇所を撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	12. U字溝 U字フリーム ベンチフリーム	施工延長おおむね 50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	施工状況、その他必要箇所を撮影する。
	13. 土水路	施工延長おおむね 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。 施工延長を示さない場合は、1～2工区につき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
	14. 鉄筋組立	1 スパン（1 打設ブロック）ごとに撮影する。	かぶり、中心間隔、その他必要箇所を撮影する。
2 ほ 場 整 備 工 事	1. 表土扱い	おおむね 10 a 当たり1箇所の割合で撮影する。	表土厚を撮影する。
	2. 基盤造成 表土整地	上記と同一。	基盤面、表土埋戻後を撮影する。
	3. 畦畔復旧	施工延長おおむね 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	4. 道路工 (砂利道)	幹線道路は 50～100mにつき1箇所の割合で、支線道路は 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。	まき出し厚さ、転圧、厚さ、幅、その他必要箇所を撮影する。